**令和四年　第二十一期くまもと俳句ポスト**

**第二十一期開函**

**俳誌「阿蘇」主宰　　岩岡　中正　選**

**特選**

もののふの夢三月の雨に散る　　　　　　　熊本県熊本市　　　 中村　和徳

**【講評】**

西南戦争田原坂の古戦場での句。三月は春とはいえ、まだ寒かった。その激戦を「三月の雨に散る」と詠んで、若者の命を惜しみ、しみじみと歴史を回顧する。「もののふの夢」という出だしからしらべが高く、美しい追悼句になった。

**わが輩通り賞**

神棚はハーンの遺品桐の花　　　　　　　　長崎県諫早市 　　 　 麻生　勝行

**入選**

紫陽花にきのふの雨の重さかな　　　　　　熊本県熊本市　　　 芥川　卓

窓といふ窓開け放ち竹の春　　　　　　　　熊本県熊本市　　　 光永　忠夫

雨上がり菜の花畑に光あれ　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　 廣瀬　勝則

**佳作**

桜貝牧水熱きごころ　　　 　 　　　　　熊本県熊本市　　　　 鶴田　信吾

薫風や剣聖偲ぶ西の塚　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　 坂口美穂子

の命ぞ噴ける五岳かな　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　 長袋　悟

露天風呂我もゆらゆら花いかだ　　　　　　熊本県熊本市 前田　俊明

晩春や喫茶室より市電見ゆ　　　　　　　　神奈川県横浜市　　　 吉村　珠美

熊本はの木の街風光る　　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　 菊池　一郎

戦争で取りかえせない命たち　　　　　　　熊本県熊本市　　　　 牧　遙華

八千代座のの音涼しくゆき渡る　　　　　熊本県熊本市　　　　 山﨑　綾子

日の満ちて親しきものに冬　　　　　　東京都板橋区　　　　 南方　日午

わかもののゆめとちからのたばるざか　　　熊本県阿蘇郡　　　　 三村　幸椰

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 投句総数　　九十五句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 市内　　　　七十七句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 市外　　　　十八句

開函日　令和四年六月三十日